

平成30年度 腰痛予防推進[出前講座]実施要綱

(腰痛予防指導者派遣事業)

1 目的

福祉施設・事業所等に、介護実習・普及センターが主催する腰痛予防指導者育成研修（以下、「指導者育成研修」という）講師や修了者を派遣し、出前講座のかたちで実技演習を行うことにより、県内介護職員等の腰痛予防に対する理解や関心を深めることを目的とする。

2 目標

- 1) 利用者の自立を支援するために福祉用具を適切に利活用することの必要性を理解する。
- 2) 介護職員の腰痛予防への意識を高め、作業姿勢等に留意しながら介助ができるようにする。

3 実施主体 富山県社会福祉協議会 富山県介護実習・普及センター

4 対象 福祉用具の利活用や腰痛予防意識の浸透を図りたい施設・事業所等の10人以上の職員で構成されたグループ・団体等（10名未満の場合は要相談） ※上記グループ・団体の中に、腰痛予防の必要性や福祉用具について基礎学習を受けた職員（腰痛予防研修修了者）が1名以上いることが望ましい。

5 実施期間 平成30年8月1日（水）～9月28日（金）の期間中の土日祝日を除く日の午後1時30分から8時までの間で120分程度とする。日程等については、グループ代表者と当センター間で調整し決定する。

原則として1施設・事業所につき1回（全6回）

（講師の都合等により希望の日時に沿えない場合もあることを予めご了解ください。）

6 開催場所等 出前講座の開催場所は受講グループ等の所属施設とし、会場の確保や講座についての準備及び進行等は、グループ等が行うものとする。

7 内容 講座内容は下記1)、2)、3)とし、講座を希望するグループ等においてコースを選択する。

1) スライディングシート・ボード体験コース

内 容	講 師
① スライディングシート・ボードについて ・有用性や対象者について説明 ・適切な使い方について説明	講師 (1～2名)
② スライディングシート・ボード体験 ・二人一組でモデル役と介助する人を交互に体験	

2) リフト体験コース

内 容	講 師
① リフトについて ・リフト・スリングの選択についての説明	講師 (1～2名)
② リフト体験 ・リフト操作方法の説明 ・二人一組でモデル役と介助する人を交互に体験	

3) その他体験コース

内 容	講 師
1) 2) の組み合わせ等 施設・事業所の希望する内容を入れる 事例検討	講師 (1～2名)

- 8 費用等 受講料及び講師派遣料は、無料とする。ただし、会場使用料のほか出前講座に要する費用については、受講グループ等の負担とする。
- 9 申込方法 受講グループ等の代表者は、6月22日(金)までに、受講申込書(様式1)に必要事項を記入し、FAXにて申し込む。
- 10 決定通知 受講決定通知は、7月6日(金)までに施設長(管理者)あてに送付する。
- 11 提出書類 下記1)～3)の書類について、期日までに当センターへFAXにて提出する。
1)受講申込書(別紙 様式1):6月22日(金)まで
2)実施報告書(別紙 様式2):講座終了後1週間以内
3)実施評価票(別紙 等式3):講座終了日から6カ月後(6カ月経過後の職員の意識や行動の変化について報告する。)
- 12 その他 1)当センターで、スライディングシート・スライディングボード・跳ねあげ式車いす等の貸出は可能。ただし、それらの搬入・搬出については、グループ等が行うこととする。
2)リフトの貸出しについてはご相談ください。